



学校だより

8・9月号 第395号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

地域で育つ

副校長 稲富 陽子

夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。登校してきた一人ひとりの笑顔や成長した姿、満足そうに自由研究の作品を抱えて歩く姿から、それぞれ充実した夏休みが過ごせたことがうかがわれます。

7月は雨が多く、なかなか水泳学習が実施できませんでした。夏休みに入るとともに梅雨明けとなり、夏季水泳教室や特別水泳教室には、たくさん子どもたちが参加し、自分のめあてに向かって水遊びや水泳学習に取り組みました。7月30日に東山田小学校で行われた、区水泳大会には

山田小から4～6年生の代表児童32名が参加し、たくさんの自己ベストが更新されました。また、今年度で最後の開催となった横浜市小学校水泳大会(8月23日横浜国際プール)には、本校から男子自由形に2名が都筑区代表選手として参加し、大歓声の中、素晴らしい泳ぎを見せてくれました。

地域では、多くの子どもたちが、夏祭りを楽しむ姿が見られました。7月20日には、横浜市無形民俗文化財指定である虫送りが南山田で行われました。200本にもなる松明を持ち、連なって歩く情景は、それはそれは見事なものでした。



8月2日・3日には、東山田町内会は本校校庭で、南山田町内会は南山田ぼうけん公園で納涼盆踊り大会が開催されました。本校には大きなやぐらが組まれ、たくさんの提灯が並びました。そのために、猛暑の中、一週間も前から会場の準備が進められていました。提灯の取り付けや会場の後片付けには、たくさんの町内会の方々に混じって東山田中の生徒のみなさんが参加していることにも驚きました。連合町内会や各団体の皆様の多大なご尽力あつての盛大な盆踊り大会であることを心から感じました。山田小の子どもたちも盆踊りを踊ったり、夜店を楽しんだりと楽しく地域の

行事に参加していました。改めて、子どもたちが地域に育てていただいていることを実感した、令和元年の夏となりました。

右の写真は、山田小の子どもたちが、体育の時間や休み時間にボールを当てる的として、長年親しんできた投てき板です。昭和51年度卒業生より寄贈されたものでした。ところが、この投てき板が「地震でのブロック塀倒壊」を受け、撤去しなければならなくなりました。大変惜しまれましたが、安全確保のため7月に撤去されました。今年度中には、新しい投てき板が完成する予定です。ご理解のほどお願いいたします。

